

県労連 あおもり

2019年1月5日 第340号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234
発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円
1992年10月30日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

改憲、安倍独裁阻止！ 勝負の年 2019年

新年のあいさつ

県労連議長 奥村 榮



森友・加計・自衛隊・働き方改革でのウソ・隠ぺい・改ざん、そして、水道法・漁業法・日欧経済連携協定・入管法での強行採決！国権の最高機関である国会を破壊する暴挙である。そもそも内閣は、主権者国民の代表が国会で作った法律の

実施を行う事務方であり、内閣総理大臣は事務方の長にしかすぎない。その事務方が国会での多数を背景に、主権者を代表する国会を支配し、三権分立を破壊している。これが暴走安倍政権の姿である。大島衆院議長でさえ、「民主主義の根幹を揺るがす」と表明せざるを得なかった。行き着いた先が、12月14日の辺野古への土砂投入であった。駆け付けた翁長前知事の妻樹子さんは「これだけ民意をないがしろにできる国って何

う。その到達点を示したのが、市民連合が11月に開催したシンポジウム「安倍政権にかわる新しい選択肢」である。参加した5野党1会派が今年の参院選全国32の1人区での候補者1本化を国民に向かって表明したことである。印象的だったのは、参加者の互いを信じ合っている「信頼の笑顔」であった。安倍政権による人権保障の2本柱、民主主義と立憲主義への度重なる破壊は、主権者である国民と野党による巨大な勢力を構築しつつある。この流れを行動で前進させるのか、傍観して後退させるのか！

76年前の太平洋戦争を忘れず、再び戦争を繰り返さないため、12月8日の開戦日に全国各地で市民集会が開催されました。吹雪の中の青森市の市民集会に100名が参加しました。主催者を代表して9条の会の門倉昇共同代表は、「政府の過ちによって再び戦争を繰り返させないため、3000万署名に全力を挙げ、安倍政権を退陣に追い込もう」と挨拶しました。市民団体から猪股文字・県水協事務局長が3000万人署名とヒバクシャ国際署名の取り組みと意義について報告しました。政党から高橋千鶴子衆院議員と社民党の三上武志代表が連帯の挨拶、立憲民主党と国民民主党がメッセージを寄せました。

また新婦人は、会場で道行く市民に、例年実施している「赤紙」300枚を配布、戦争反対を訴えていました。最後にアピール「『戦争する国』づくりの『安倍改憲』を阻止しよう！」を採択、吹雪の中繁華街を30分間デモ行進、自民党県連事務所前ではひとさわ大きな声で、「戦争する国づくり反対」「戦争したがる内閣はいらない」「ウソとごまかしのアベ政権」などのシュプレヒコールを行いました。母親連絡会は、弘前市で赤紙100枚の配布と平和のつどいの開催(35人)、八戸市で赤紙200枚配布、むつ市で赤紙75枚配布と平和を考えるつどい(50人)を開催するなど平和の尊さを訴えました。

12・8太平洋戦争開戦日 青森など4ヶ所で行動



寒中の市民集会

- これからの予定**
- 19春闘勝利決起集会
 - 主催 県春闘共闘会議
 - 2月9日(土) 14時
 - 県教育会館
 - 講演 全労連に要請中
 - 第11回青森年金裁判口頭弁論
 - 1月31日(木) 14時
 - 第7回いのちのとりで裁判口頭弁論
 - 2月1日(金) 14時

外国人技能実習生の実態を日経デジタルが「あるベトナム人女性が16年4月に来日。実習先の縫製工場での勤務実態は過酷だった。1日14〜15時間働いて休日は年に7日だけ。仕事が遅いと帰国を強く迫られたが、来日費用として100万円ほど借金しており、日本に残らなければと会社の寮を逃げ出した」。厚生労働省は17年に調査に入った5966事業場のうち4226事業場で違法残業や賃金未払いなどを確認。失踪者が増える背景には実習先の法令違反があることが報じた。これが実習生の実態だし、安倍応援団の日報(失礼)でもこういう記事を載せている。ところが先の臨時国会は目を覆うばかり。実習生の失踪者は7000人。法務省は、聴取票2892人のうち最賃以下の労働者は22人と国会に報告。開示を求められると安倍首相は個人のプライバシーを根拠に拒否。法務省は「聴取票の閲覧は出来るがコピーはできない(いまどき?)」。案の定、野党の国会議員が手分けして手書きでメモをとって集計したところ、最賃以下は22人どころか、1995人もいた。神聖な国会で虚偽報告や改ざん・捏造を平然とやっていた。カローシラインの月80時間の残業も292人。国会は「首相以下信用できないところ」が定着しそうだ。(今)

大幅賃上げ、社会保障の充実を ―19 国民春闘方針採択―

12月8日、青森県労連第35回評議員会を県民福祉プラザ中研修室で開催しました。

評議員会には、21組織中16組織、評議員定数29名中23名の出席がありました。開会にあたり奥村議長は、悪法を次から次へと強行採決した国会運営を痛烈に批判し、「安倍政権を終わらせるために、来年の選挙で勝利しよう」と訴えました。檜山事務局長の議案提案では、①大幅な人口減少が見込まれ、県内で働き、暮らせるために、最低賃金の大幅な引き上げが重要で

ある。②最低生計費調査の結果からも、「全国一律最賃制の確立」は、切実な課題。③働き方改革一括法は、多くの問題点や疑問点を解明することなく、採決を強行したことは断じて許されない。改悪部分を職場に導入させないたたかいが重要。④組織の拡大強化に向け、既存組織内での拡大、新たな労組確立の重点計画での取り組み等を提案しました。討論で

は、①弘大職組・年俸制が導入されているが、業績評価はフェアな基準とは思えない、「長く勤めるな」ということ。②県国公・国公一般東北で環境科学研究所のパワハラ、不当労働行為で宣伝行動実施。社保庁分限免職裁判は、2月5日に仙台高裁で結審の予定。③



19 春闘方針を全員の賛成で採択

年俸制・業績評価―学内研究集会

11月15日に、年俸制、業績評価及び人件費削減と人事のあり方に関する「弘前大学学内研究集会」を開催した。

①年俸制― 大学の年俸制は、「年俸に含まれる」という理由で扶養、住居、寒冷手当などが支給されていない点で問題である。

②業績評価― 大学の業績評価は、自己評価7割と管理者評価3割で構成されるが、自己評価は一定値で圧縮され、管理者評価による上乗せがなければ上位の評価を受けることができない。モチベーションが上がりにくい。

③人件費削減と人事のあり方― 法人化後の人件費の変動を検討するとともに、学長を委員長とする全学人事委員会の下に教員人事が一元化され、教育現場の意向が反映されにくい。以上の問題点が出された。討論では、現行の年俸制は対象教員が希望を持って



弘大職組の執行部

働ける制度になっておらず、また大学の業績評価制度は働き損を生む設計になっている、など多数の意見が出された。(弘前大学職員組合執行委員長 宮永崇史)

ひだまり・最賃違反と残業代未払いのまま解雇されたが、ひだまりに結集し、支払われた。④つがる西北五・執行委員長に対する再任用拒否があり、裁判を含むたたかいを予定している。⑤下北・教育シンポジウムを実施している、実態調査では非常勤職員の比率が増加。などの発言がありました。採決の結果、議案は満場一致で採択されました。

12月14日、安倍政権は辺野古新基地建設のため辺野古の海に土砂を投入しました。4年前の知事選挙の翁長さんの当選、今年10月の玉城デニーさんの勝利で、沖縄の辺野古新基地建設反対の民意が明白であるにもかかわらず強行したので

防衛局の調査で辺野古の海は超軟弱地盤であることが判明しても2年間秘匿、地盤改良工事の設計変更が必要になっていきます。又、地盤改良のためなどで完成まで10数年かかり、建設費用も当初の2400億円から10倍の2兆円を超過すると言われています。

〈ろうきん〉のカードなら
ATMお引き出し手数料
全額即時キャッシュバック!

実質 **0** 円

東北労働金庫青森県本部 青森市本町3丁目3-11 ☎017(777)6165

吹雪の中の抗議行動

で許されない行為です。同日昼、県平和委員会と憲法ネット青森は、青森駅前公園で沖縄の闘いに連帯して、土砂の投入反対のス

生命・医療・火災・自動車・・・

全労連共済

労働組合の助け合い共済。
民間保険と違い、営利目的ではない。
だから、「小さな掛金」で「大きな保障」が実現。
問い合わせは県労連に ☎ 017-762-6234

本格的に雪が降ってきました。雪かきががんばります。(長内彩菜・厚生労組)



長島の地域に20年ほど通ったので、時どきそちらに行きそうになったが、今はまよわず県労連

タンディングを実施しました。猛吹雪の中、緊急にもかかわらず組合員や市民など17名が参加、「辺野古への土砂投入中止」「普天間基地の即時撤去」「沖縄の民意を尊重しろ」「アメリカ力は沖縄から出ていけ」などをコールしました。

暖冬の予報が出ました。まだ雪が降ってはいませんが、青森も小雪であって欲しいな?(中村龍平・建交)

会館へ来ています。(北田文字・年金者組合)
雪と寒さの闘いは北国の宿命だが、2019年は絶対に負けられない闘いがある。統一地方選挙と参院選である。平和憲法改悪を諦めさせることと安倍政権を終わらせるためには、ここで勝たなければならぬ。戦前の歴史に後戻りするの、このまま平和を死守できるのかの瀬戸際の選挙の年であることを胆に銘じて行動したい。(中道博章・年金者組合)

11月某日 上野で「フェルメール」を見る。真夏の決着がついていない37点のうち10点が来日。9点(大阪会場のみ1点あり)を鑑賞した。光とフェルメールに感嘆!しかし、本当は空気を共有しながら鑑賞すべきだろうとも思う。(長内一・建交)

冬のボーナス 間近、でも年俸制の方々は?寒冷手当は?など、同じ職場で(も)、給与体系の多様化、加えてこれらの「働き方改革」は、どんな影響を我々の職場に? (本田和茂・弘大職組)

第338回 まちがいがし

第336回の答えと当選者 《答え》

第338回 まちがいがし

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いてください。余白に職場の様子や最近の出来事などを、およそ

くたさい。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。

●締切 2月15日
●発表 3月号
●宛先 030-0852 青森市大野字若宮165-19。FAX、メールは欄外に表記。「第338回まちがいがし」係りまで。

第336回の答えと当選者 《答え》

①右下の男のメガネ②右の女のバッグ③山の絵④奥の男の腕⑤女のベレー帽⑥子どもの帽子⑦左のオブジェ

《当選者》15通の応募でした。当選者は次の方々です。

三上恵美(県教組)、原幸子(年金者組合)、中道博章(年金者組合)、北田文子(年金者組合)、今晴美(ひだまり)